

第3学年

学年通信

# 心意気

こころざしを語り、夢に向かって  
心意気を発揮する生徒になる。

豊田中学校

H29.12.22

No.20 文責 直井 弘之

本日をもって80日間の2学期を終了します。本当に充実した2学期だったと思います。中学校生活最後の三大行事の内の体育大会、合唱ウコンクールを成功させ、さらには大学専門学校訪問・先輩授業をやり遂げた後は、自分の進路と向き合いながら着実な歩みを進めてまいりました。いよいよ平成30年に向けて最後の加速をしてほしいと願っています。受検という関門があるわけですから、すべての生徒が希望通りの進路選択ができるわけではありませんが、大切なのはこの学校へ行くかという事ではなく、何を学びに行くかということです。自分を選んでくれた学校でさらなる飛躍ができるようしっかり準備をして、本校を巣立ってほしいと願っています。

◎3組の齊藤 瑞奈さんが、終業式で2学期の反省を述べてくれました。この3年間でこんなにも素晴らしい文章がしたためられるようになったこと、こんなにも素敵な「想い」を持つように成長してくれたこと、心から本当に嬉しく思います。



2学期は、このまま時間を止めてしまいたいと何度も思いました。三大行事の体育大会、合唱コンクールがあり充実していました。私がこの2つの行事を通して感じたことは、皆の姿が去年よりも、勇ましく感じたことです。どのクラスも1位になるための努力をしていたので格好良さも感じました。体育大会では、皆の姿が輝いていたムカデリレーが特に心に残っています。練習でできた努力の証の傷、お互いに励ましあってできた絆が私の宝物です。合唱コンクールでは、思いを込めて伝えるということを意識して練習しました。声量が足りない、音程がとれない、そんな状態ではじまりました。最優秀賞を獲りたいという気持ちが全員にありました。だから、お互いを指摘しあったり、交換合唱で気付いたことを直したりと、成長できることが嬉しかったです。

そして、この2学期は新しいことに出会い、自分と向き合いました。地域貢献活動では地域行事に参加し人と関わりの大切さに気付き、上級学校・専門学校訪問では浜松学院大学を訪問し将来について考え、服のカプロジェクトでは服を提供したり、5000着の服をダンボールにつめたりと、世界と自分の関わりを考えることができました。また、先輩授業では、後輩のまだまだ慣れない敬語を使って質問をしている姿をみて、初々しく懐かしさを感じました。話している人の目をみたり、あいづちをしていたりする姿をみて、私も見習わないといけないと感じました。

私たちの学年から新しいことが始まっていき、緊張の反面、私たちの行ってきたことが下の学年につながっていくことが嬉しかったです。

私はクラスを支えたいと思い、後期の委員会では生活委員に所属しました。行事が終わり、これからそれぞれが自分との勝負になります。これまでの経験を生かして、皆にとって生活委員の私が心の拠り所になれるよう、そして、最後は笑顔で卒業できるように過ごしていきたいです。

3年3組 齊藤 瑞奈

1月5日(金) 3学期・始業式(行、学、学、×、×、× ※午前中で終わります。)

【持ち物】通信票(保護者コメント、保護者印)、冬休みの計画表、冬休みの課題、上靴  
願書下書き、あゆみ(スケジュール帳)防災頭巾、体育館シューズ、その他必要なもの

【注意事項】○8時までに昇降口を通過すること。

◎受検準備をする3学期です。服装・頭髮・眉毛等、注意を受けることがない  
姿で登校すること。